



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 日本農薬学会第40回記念大会の御案内
- 設立40周年記念事業への寄付のお願い
- 農薬科学研究奨励金の交付申請について

平成26年度第2回常任評議員会議事録

日 時：平成26年7月26日（土）13:00～16:35

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員，第40回記念大会委員長 計12名（欠席3名）

議 事：

I. 平成26年度第1回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成26年度収支の現状（1月1日から7月23日まで）について報告があった。
- ・海外への学会誌寄贈を船便からSAL便に変更することが承認された。

2. 編集委員会

- ・JPS第39巻3号と和文誌2号の発行予定について報告があった。
- ・平成26年度の投稿審査状況について報告があった。
- ・論文賞候補論文の選考について進捗状況の報告があった。
- ・IUPAC2014関連記事について検討した。

3. 環境委員会

- ・平成26年度の活動状況について説明があった
- ・平成26年度の残留農薬分析セミナーを開催予定について説明があった。
- ・農薬の理解促進WGの活動状況について報告があった。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

5. ホームページ委員会

- ・平成26年度の活動状況について説明があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・平成27年度の日本農薬学会賞の候補者の推薦および選考状況について報告があった。

7. 植物保護科学連合

- ・平成26年度の日本学術会議シンポジウム（12月6日開催予定）では，当学会からの推薦で三芳秀人氏（京都大学）が講演する。

8. 農学会関連

- ・平成26年度日本農学会シンポジウムは10月4日に開催される。
- ・公益財団法人農学会の会長に長澤寛道氏が就任された。

9. 国際学会等の協賛について

- ・第18回国際植物保護会議（IPPC: International Plant protection Congress）への対応について協議した。

10. 学術小集会関係

- ・学術小集会との懇談会に向けて，検討課題を整理した。

11. 研究会等の後援・協賛について

- ・平成26年9月24日（水）～28日（日）に京都市国際交流協会（京都府京都市）で開催予定の第12回国際シトクロムP450 シンポジウム「生物多様性とバイオテクノロジー」を後援することを承認した。
- ・平成26年11月4日（火）～5日（水）に島津製作所東京本社2階イベントホール（東京都千代田区）で開催予定の第55回機器分析講習会第3コース「MSの分析化学への活用に関する基礎講座」を協賛することを承認した。

12. 農薬科学研究補助金について

- 平成25年度農薬科学研究補助金交付者の成果報告書について報告があった。
- 平成27年度農薬科学研究補助金の公募・審査方法について検討した。

13. 国際交流基金助成金について
 - ・葛西真治氏からの海外渡航経費補助申請を承認した。
14. 役員・評議員選挙について
 - ・平成26年度に実施される役員・評議員選挙の投票方法の告知方法について報告があった。
15. 第40回記念大会関係
 - ・大会の準備状況について説明があった。
 - ・記念事業として、記念式典、記念講演および既刊学会誌等のアーカイブ化について検討した。関連して、既刊出版物の著作権移譲手続きについて検討した。
 - ・企業と個人からの寄付についてスケジュール等を検討した。
16. 入退会の報告(平成26年5月1日～平成26年7月15日)
 - ・入退会が承認された。入会は正会員8名、退会は終身会員1名、正会員1名、海外会員3名。
17. その他
なし

第189回常任編集委員会 議事要旨

日 時：平成26年8月2日(土) 14時～17時
会 場：東京農工大学大学院 BASE本館1階会議室
出席者：9名 欠席者：4名
議 事：

- 1) 第188回常任編集委員会(メール会議)議事録の確認
論文賞の選考方法およびJPS 39巻3号への掲載論文の承認に関して、平成26年5月7日から7月7日にかけて4回のメール会議を行った。その審議の内容と決定事項を確認した。
- 2) 投稿・審査状況
2014年の投稿(7/29 現在)72編(内、和文4編)、審査中13編、著者訂正中2編(昨年からの積み残しは無い。)
- 3) 論文賞の選考
14名の編集委員から7論文が推薦された。従来の手順に則って最優秀論文1編を選考し、著者の推薦受諾の有無を確認後、賞選考委員会に推薦した。
- 4) 編集委員の交代
退職に伴う1名の委員から交代の申し出があり、受理した。
- 5) 著作件関係
学術著作権協会からの「電子著作物の複製等に関する権利委託」の依頼を受け、著作物の紙への複製等に加え、電子著作物の複製ならびに著作物の電子化等に関しても権利委託をすることとした。
- 6) 「メディカルオンライン」への対応

学会誌のすべての記事のpdfファイルの提供の申し出があり、常任編集委員会が直接対応するのではなく、学術著作権協会に問い合わせてもらったこととした。

- 7) 読み物企画
新たに「読み物シリーズ」をスタートさせ、農業誌2号で「各地の生産現場から(1)」、「農業に係る法律・入門編(1)」を掲載した。
- 8) 13th IUPAC ICPC 報告書
特別記事として全体を網羅することはしない。渡航費補助者(正会員7名)に、参加するセクションを中心に紹介記事を依頼した。内容の重複を避ける配慮をお願いした。「導入部」は、浅見会長に依頼した。学生会員の渡航費補助者(9名)の報告書は、「導入部」のサプリメントとして、印刷はせずにJ-Stageのみで公開する。ただし、単なるpdf化ではなく印刷記事(シンポジウム)と同様な2段組に編集する。
- 9) Pub Medへの収録に向けた対策
前段階として、Pub Med Centralでの収録を目指すことのメリットを検討した。今後継続して検討することとした。

平成26年度学術小集会委員長との懇談会議事録

日 時：平成26年9月6日(土) 16:50～18:00
会 場：日本植物防疫協会 地下会議室
出席者：学術小集会委員長7名(代理出席2名)、常任評議員会メンバー11名(重複2名)
議 事：

1. 各学術小集会の平成25年度活動結果報告および平成26年度活動状況報告
 - ・各委員長から昨年度の活動結果および本年度の活動状況(研究会の開催予定を含む)が報告され、常任評議員会との質疑応答があった。
2. その他、連絡事項など
 - ・各学術小集会に依頼した事前アンケートの結果が報告され、それをもとに学術小集会の運営等について情報交換した。
 - ・会計処理の簡便化と統一について、今後の協力をお願いした。
 - ・学術小集会の講演要旨や出版物に関わる著作権への対応について、今後の検討への協力をお願いした。
 - ・学術小集会が開催する研究会・シンポジウムについて、その運営や他の研究会と連携などについて検討をお願いした。
 - ・農業科学研究奨励金交付制度について、一次審査員の推薦および公募の広報への協力を各小集会にお願いした。

・学会の法人化へ向けた取り組みの現状について、今後も情報提供していくことが説明された。

平成27年度日本農薬学会賞第2回選考委員会議事録

日時：平成26年10月4日（土）13:30～16:55

場所：植物防疫会館地下階会議室

出席者：13名（欠席者2名）

議事

1. 選考委員の2/3以上が出席していることから選考委員会は成立していることを確認した。
2. 推薦のあった奨励賞，業績賞（研究），業績賞（技術）の各候補について，選考に関する内規に基づいて厳正に選考を行い，奨励賞2件，業績賞（研究）1件，業績賞（技術）2件の授賞候補を決定した。
3. 論文賞については，学会誌編集委員会より推薦のあった論文を授賞候補とすることを決定した。
4. 今後，上記授賞候補に対して，評議員による受賞可否投票の手続きにはいる。
5. その他

会員異動

（平成26年5月1日～平成26年7月15日）

入会

正会員

岩船 敬 谷垣内弘毅 山本 雄也 平野 忠美
梶原 淳睦 三瀬 博喜 北岡 洋平 高田 早苗
(受付順)

退会

終身会員

吉田 孝二

正会員

藤條 純夫

海外会員

Gopal, Madhuban
Chao-Ying, Chen
Wiboon, Chongra

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催，共催，協賛する会議等

2014年

11月

24日（月）～26日（水） **International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014**

主催：日本環境化学会

協賛：日本農薬学会等

会場：Chulabhorn Research Institute [54 Kamphaeng Phet
6 Talat Bang Khen, Lak Si Bangkok 10210 Thailand]

URL：http://www.prime-pco.com/icaec2014/index.html

12月

5日（金） **第12回農薬バイオサイエンス研究会**

主催：日本農薬学会 農薬バイオサイエンス研究会

会場：神戸大学農学部 [〒657-8501 兵庫県神戸市六甲
台町1-1]

URL：http://pssj2.jp/committee/biosci/biosci12.html

8日（月） **第22回農薬レギュラトリーサイエンス研究会**

主催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会場：東京農業大学 百周年記念講堂 [〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1-1-1]

URL：http://pssj2.jp/committee/regula/regula22.html

2015年

3月

18日（水）～20日（金） **第40回日本農薬学会記念大会**

主催：日本農薬学会

会場：玉川大学 [〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1]

URL：http://pssj2.jp/congresses/thisyear.html

28日（土）～31日（火） **第100回日本植物病理学会大会**

主催：日本植物病理学会

会場：明治大学駿河台キャンパス [〒101-8301 東京都
千代田区神田駿河台1-1]

URL：http://www2.nacos.com/pssj2015/

8月

24日（月）～27日（木） **第18回国際植物保護会議（IPPC2015）**

主催：International Association for the Plant Protection
Sciences (IAPPS)

会場：Free University Berlin [Henry Ford Building,
Garystraße 35, 14195 Berlin-Dahlem/Germany]

URL：http://www.ippc2015.de/general-information/
welcome-note/

学会主催会議等の詳細

第12回農薬バイオサイエンス研究会

主催：日本農薬バイオサイエンス研究会

共催：神戸大学農学部同窓会 六篠会

日 時：平成26年12月5日（金）
会 場：神戸大学大学院農学研究科 B403教室 [〒657-8501 兵庫県神戸市六甲台町1-1]
TEL：078-881-1212
<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai2.html>

U R L：<http://pssj2.jp/committee/biosci/biosci12.html>
テーマ：「生存戦略を支配する分子メカニズム ～農薬科学のイノベーションを目指して～」

プログラム：

13:30～14:20 「ケミカルバイオロジーによる植物免疫研究」
能年 義輝（岡山大学大学院環境生命科学研究科）
14:20～15:10 「比較ゲノム解析から見えてきたネムリユスリカの極限環境適応」
黄川田 隆洋（（独）農業生物資源研究所 昆虫機能研究開発ユニット）
15:10～15:25 休憩
15:25～16:15 「完全肉食動物への進化で獲得したネコ特有なケミカルシグナルの生合成機構」
宮崎 雅雄（岩手大学農学部）
16:15～17:05 「マルチターン飛行時間型質量分析計で切り拓くオンサイトマスマスペクトロメトリー」
豊田 岐聡（大阪大学大学院理学研究科 附属基礎理学プロジェクト 研究センター）

参加費：無料

問合せ先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学遺伝子実験センター 乾 秀之
TEL: 078-803-5863
E-mail: hinui@kobe-u.ac.jp

第22回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会

日 時：平成26年12月8日（月）
会 場：東京農業大学 百周年記念講堂 [〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1]
http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html

交 通：小田急線経堂駅または千歳船橋駅から徒歩 15分

U R L：<http://pssj2.jp/committee/regula/regula22.html>
テーマ：「農薬散布区への散布後の立ち入り及び作業員曝露を考える」

主 旨：

日本で今後導入されるであろう農薬作業員及び農薬散布後の一時立ち入り者への農薬曝露に関して、リスク評価・リス

ク管理を海外の規制を踏まえて、日本の現状、研究成果、作業員曝露許容量の設定、将来のリスク評価・リスク管理の在り方を講演者、参加者で討論・検討します。規制に関わる問題のみならず、農薬散布現場における被ばくの防護対策などから実務上の問題とも関連して検討したいと思います。

また、本年8月に開催された第13回IUPAC農薬化学国際会議での関連報告の紹介も予定しています。

講 演：（講演内容、講演順は予定です。）

- 1) 農薬散布における作業員曝露リスク低減のための労働衛生保護具の有効性と適正使用について
田中 茂氏（十文字学園女子大学大学院）
- 2) 生産現場における農薬曝露について（ナスとイチゴを例にとりて）
谷川 元一氏（奈良県農業研究開発センター 所長）
- 3) 海外での作業員及びリエントリーでの曝露評価とAOEL設定について
原田 孝則氏（（一財）残留農薬研究所 理事長）
- 4) 日本における作業員安全性評価の現状と課題
松井 美樹氏（農林水産省 大臣官房政策課調査官 兼消費・安全局農産安全管理課）
- 5) 農薬の大気経路の飛散による曝露評価と曝露軽減法について
小原 裕三氏（（独）農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域）

研究会参加費：4,000円

情報交換会費：4,000円（百周年記念講堂の隣の建物）

参加申し込み：参加申し込み、問い合わせは以下に、なるべくメールでご連絡ください。

農薬レギュラトリーサイエンス研究会
星野敏明

E-mail: pssj_reg_science@yahoo.co.jp

氏名、所属、情報交換会の参加の有無をご連絡ください。

ファックスでのご連絡は農薬学会宛てにお願いします。（FAX: 03-5980-0282）

申し込みをいただきましたら、確認のため参加申し込み受理しました旨、返信致します。

日本農薬学会第40回記念大会の御案内

日本農薬学会第40回記念大会を平成27年3月18日（水）から20日（金）までの3日間にわたって玉川大学にて開催致します。本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様におかれましては、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。一般講演の充実のため、学術小集会などの発表で評価されたご研究についても本大会での発表を歓迎致します。植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員扱いで参加・発表いただけますので、お近くの関係学会員の方にお誘いいただければ幸いです。もちろん、非会員の方のご参加も歓迎致します。

大会関係の記事は、下記のように本News Letterと学会誌に掲載致します。また、詳細を大会ホームページで随時お知らせ致します。

●News Letter 2014年第4号（平成26年11月20日発行）：大会案内、一般講演申込み要領、事前割引登録要領

●日本農薬学会誌40巻1号（平成27年2月20日発行）：大会日程、プログラム、会場案内

I. 開催場所

玉川学園講堂：総会、学会賞授与式、受賞講演、特別講演、一般講演、シンポジウム、

玉川大学5号館：ランチョンセミナー

りんどう食堂：展示

小田急線「玉川学園前」駅下車徒歩10分、〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

小田急ホテルセンチュリー相模大野：懇親会・受賞祝賀会

小田急線「相模大野」駅下車徒歩1分

II. 会期および日程

平成27年3月18日（水）～3月20日（金）

月・日	午前	昼	午後	会場
3月18日（水）	総会、授賞式、 受賞講演		40周年記念式典・ 記念講演会	玉川学園講堂
3月19日（木）	一般講演	ランチョンセミナー (玉川大学5号館)	懇親会・受賞祝賀会 一般講演・受賞講演 シンポジウム1	ホテルセンチュリー相模大野 玉川学園講堂・ 視聴覚センター
3月20日（金）	一般講演	ランチョンセミナー (玉川大学5号館)	一般講演・特別講演・ シンポジウム2	玉川学園講堂・ 視聴覚センター

評議員会および編集委員会は、3月17日（火）に玉川大学8号館で開催致します。詳細については別途ご案内致します。

重要な締切日

一般講演申込み締切 平成27年1月15日（木）

講演要旨原稿提出締切 平成27年1月21日（水）

事前参加登録締切 平成27年2月2日（月）

III. 40周年記念行事（玉川学園講堂）

1. 記念式典

2. 記念講演会

テーマ「食料生産の未来：農薬との関わり」

神山 洋一（農薬工業会会長）

立川 雅司（茨城大学教授）

Albert J. Fischer (UC Davis教授, President of International Weed Science Society)

IV. 特別講演およびシンポジウム

1. 特別講演

「ネオニコチノイド系農薬の使用規制でミツバチを救えるか」

玉川大学学術研究所 中村 純 教授

2. シンポジウム

- (1)「新農薬創製に貢献するフッ素ケミストリー」
オーガナイザー 大野竜太(北興化学工業株式会社)
- (2)「病虫害防除にまつわる諸問題」
オーガナイザー 寺岡 徹(東京農工大学)

V. ランチョンセミナー 会期中の昼食時に昼食(お弁当)付のランチョンセミナーを開催致します。詳細は追ってご案内致します。

VI. 一般講演申込(一般講演申込み期限は平成27年1月15日(木))

一般講演申込は、本学会会員(および冒頭で記載した4学会の会員)で平成27年度分会費納入者に限ります。受付はすべてWeb上で行い、平成26年12月1日(月)より開始します。一般講演を申し込まれる場合は、1演題ごとに発表代表者が次の1~3を行ってください。

- 平成27年1月15日(木)までに日本農薬学会ホームページ(<http://pssj.jp/>)の「大会案内」より次回大会をクリック、次に「事前参加登録」をクリックして、トップツアー(株)の事前参加登録ページ(<https://conv.toptour.co.jp.shop/evt/pssj40>)に移り、「IX. 参加登録」の項に従って、事前参加登録を行ってください。事前参加登録をされませんと、一般講演の申込はできません。一般講演を行わない参加者の方も、必ず事前登録を行ってください。
- 一般講演申込の受付は、平成26年12月1日(月)から、Web上で開始致します。1の参加登録手続き後に、トップツアー(株)の事前参加登録ページにログインし、マイページ左側メニューの「一般講演申込」から手続きを行ってください。(一般講演申込締切:平成27年1月15日(木))
- 2の一般講演申込手続き後に、下記「VII. 講演要旨原稿の作成について」の項をご参照の上、講演要旨原稿を作成してください。講演要旨原稿はトップツアー(株)の事前参加登録ページにログインし、「一般講演申込」でアップロードすることによって提出してください。(要旨提出締切:平成27年1月21日(水))。詳しくは、「VII. 講演要旨原稿の作成について」の項をご覧ください。

※一般講演申込の入力内容について

一般講演申込においては、①演題名、②発表者氏名(連名の場合は全員、発表者本人の前に○をつける)、③所属・連絡先・電子メールアドレス、④分類(下の分類表I、およびIIから選択、記入例:第1希望B-1、第2希望E-5)、⑤代表者の会員番号をそれぞれご入力ください。締切日を過ぎますと、これらの内容は変更できません。

④の分類は、プログラム編成のために使用します。下記の分類表IとIIを組み合わせた記号で希望分野をご記入ください。

⑤の会員番号は、学会誌が送付された封筒の氏名欄右下に記された6桁の数字です。会員用「お知らせメール」にも記載されています。不明の場合は、日本農薬学会事務局(Tel: 03-5980-0281)にお問合せください。

分類表I	分類表II
A. 分子設計	1. 殺虫剤
B. 天然物化学	2. 殺菌剤
C. 合成プロセス, グリーンケミストリー	3. 除草剤
D. 作用機構, 抵抗性	4. 植物生長調節剤
E. 生物活性, 検定法	5. 防疫薬
F. 代謝, 分解, 動態	6. 生物農薬
G. 製剤, 施用法	7. 環境化学物質
H. 残留, 分析法	8. その他(簡単な内容をご記入ください)
I. 環境科学, 生態影響	
J. 毒性	
K. 遺伝子科学	
L. レギュラトリーサイエンス	
M. その他(簡単な内容をご記入ください)	

VII. 講演要旨原稿の作成について

講演要旨原稿は紙媒体をえません。学会ホームページの「大会案内」からダウンロードした『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きすることにより要旨原稿を作成し、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルとして、VI. の項に示したトップツアー（株）の事前参加登録ページの「一般講演申込」において、ファイルをアップロードすることにより提出していただきます。原稿はそのまま大会事務局でA4版にプリントアウトし、オフセット印刷します。要旨提出締切は、平成27年1月21日（水）です。

1. 要旨原稿はMicrosoft Word for WindowsもしくはMicrosoft Word for Macにて、『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きして作成ください。図表を挿入しても差し支えありません。なお、1演題につき用紙1枚に限ります。要旨原稿作成にあたっては、要旨記入例を参照ください。要旨記入例は、大会ホームページからダウンロードできます。
2. 書式（一般講演要旨原稿テンプレートおよび要旨記入例を参照）
 - a. A4判用紙を用い、上下25 mm、左右20 mmを余白とした枠内に記入してください。
 - b. 演題および氏名（所属）を最上部に書き、左側には25 mm（余白と合わせて45 mm）の空白を設けてください。発表者が連名の場合には、講演者の前に○印を付けてください。
 - c. 演題・氏名（所属）・要旨本文および脚注を、それぞれ改行してこの順に書いてください。氏名（所属）と要旨本文の間には、空白行を1行設けてください。
 - d. 全行数（演題、氏名、脚注などを含む）は36行程度で書いてください。
 - e. 要旨本文は、目的・方法・結果および考察に分けて、具体的に書いてください。特に、結果および考察については、その内容を把握できるようにしてください。
 - f. フォントは12ポイントで、演題は太字にしたゴシック体（「MSPゴシック」を推奨）を、それ以外は明朝体（「MSP明朝」を推奨）を使用して下さい。数字やアルファベットは原則として半角文字を使ってください。
 - g. 枠内の最下部から30 mmまでの領域内に、脚注として英文による演題と氏名（所属）を書き込んでください。
 - h. 英文で記述する場合は、フォントにできる限り「Times New Roman」を用い、上記の様式に準じてください。
3. 要旨原稿ファイルは、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルの両方で提出していただきます。PDF化に際しては、図表に十分な解像度があるか、文字化けはないか発表者自身で確認してください。
4. ファイル名はそれぞれ（氏名の半角英小文字. doc）、（氏名の半角英小文字. pdf）としてください（例：“玉川太郎”の場合は、tamagawatarou.docとtamagawatarou.pdfとなります）。
5. 大会講演要旨集に掲載された各要旨の著作権（複製権、公衆送信権を含む）は、日本農薬学会に帰属しますので、必ず「共著者全員の同意のもと承認します」の承認ボタンにチェックを入れてください。

VIII. 一般講演について 講演はすべて、Microsoft Power Pointで作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン（OS: Windows 7）には、最新のMicrosoft Power Point Viewer（無料ソフト）がインストールされています。演台上のPCは、補助者はつきますが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名（半角英数のみ使用）.ppt（あるいは.pptx）としてください。
例：A101_Tamagawa.ppt
- (2) 講演時間は1題15分（講演12分、討論3分）です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字（①、（株）など）の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPower Pointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPower Pointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

※発表ファイルの受付は、原則として3月18日（一般講演前日）に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共著者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルは USBメモリに保存してお持ちください。
- (2) 総会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウィルスチェックを行った後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用PCにコピーされた発表ファイルは組織委員立会の下、確実に削除いたします。

IX. 参加登録（事前参加登録締切は平成27年2月2日（月））

参加登録は平成26年12月1日（月）から、Web上で開始致します。トップツアー(株)の事前参加登録ページ (<https://conv.toptour.co.jp.shop/evt/pssj40>) にアクセスしてください。「初めての方はこちらから」のボタンをクリックし、ID（メールアドレス）、パスワードを登録しログインします。参加者の連絡先入力後、大会参加、懇親会参加、宿泊予約等を行ってください。登録手続き完了後、登録内容をお知らせする電子メール（「ID登録完了のお知らせ」）がお手元に自動配信されます。このメールにより、参加登録手続きの完了と申込内容が確認できます。申込内容を確認後、参加登録ページの「支払」から支払い手続きを行ってください。参加費の支払い方法の詳細については支払い方法登録確認のメールにてお知らせ致します。

支払いはクレジットカードのみとなっております。公費・校費による支払いはお受けできません。

1. 事前登録割引：平成27年2月2日（月）までとさせていただきます。これ以降は、すべて当日受付とさせていただきますので、大会会場にてお申込みください。スムーズな当日運営のため、事前登録割引にご協力いただきますよう、よろしくご申し上げます。

		参加登録費	備考
大会参加費（講演要旨集 1部の代金を含む）	正会員	5,000 円	2月3日（火）以降は 7,000 円
	学生会員	2,000 円	2月3日（火）以降は 3,000 円
	非会員	8,000 円	2月3日（火）以降は 10,000 円
	講演要旨集のみ	3,000 円	送料込み（大会終了後発送します）
懇親会費	正会員・非会員	8,000 円	2月3日（火）以降は 10,000 円
	学生会員	3,000 円	2月3日（火）以降は 3,000 円

※植物防疫関係2学会（日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

2. 大会参加登録費用に相当する領収書（参加登録費・懇親会費）は、大会当日に参加証と一緒にお渡しします。
3. 事前参加登録し、参加登録費をお支払いいただいた方は、事前参加登録ページの大会参加証引換券発行ページから大会参加証引換券を印刷することができます。その引換券を印刷して、宿泊等の必要情報を記入いただき、学会当日、大会 受付へ提出ください。参加証を引き換えにお渡しします。

X. 宿泊について

IX. の項に示したトップツアー(株)の事前参加登録ページから、町田駅および近隣のホテルの宿泊を予約できるようにいたしましたのでご利用ください。

お問合せ

玉川大学農学部生命化学科生物化学領域内
日本農薬学会第40回大会実行委員会事務局
住 所：〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1
TEL: 042-739-8274
E-mail: pssj40taikai@tamagawa.ac.jp

日本農薬学会第40回記念大会の御案内 広告・展示の募集について

日本農薬学会第40回記念大会は、以下の日程・会場で開催されます。

日 程：平成27年3月18日（水）～3月20日（金）

会 場：玉川大学（東京都町田市）

今大会は40回という節目の大会となります。会員の皆様におかれましては奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。開催要項等の詳細につきましては、学会ホームページおよび次号でお知らせいたします。

また、講演要旨集への広告掲載および展示会への出展で本大会へのご支援を賜りたくお願い申し上げます。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページ（<http://pssj2.jp/congresses/40/taikai40.html>）でご案内しておりますので、ご参照ください。日本農薬学会大会の成功のため、大会の趣旨にご賛同いただき、ぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ先：TEL: 042-739-8274, FAX: 042-739-8854

E-mail: pssj40taikai@tamagawa.ac.jp

日本農薬学会第40回大会組織委員会委員長

玉川大学農学部

佐藤幸治

日本農薬学会設立40周年記念事業に対する寄付の御願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より日本農薬学会の活動にご指導とご理解を賜り誠にありがとうございます。どうぞございます。

さて、日本農薬学会では、平成27年に設立40周年を迎えます節目にあたり、農薬科学分野の研究と産業の益々の発展を目指し、設立40周年記念事業を進めて参ります。

記念事業の第一は、第40回記念大会の開催です。平成27年3月18日～20日に玉川大学にて開催の予定で、設立40周年記念講演会および祝賀会を執り行う予定です。第二は、農薬の研究・開発の利便性を図ることを目的として、本学会の既刊学会誌等を電子書庫として編集して会員に提供します。第三は、国際学会等を通じた国際学术交流を行い、学会活動のグローバル化を促進するため、国際農薬化学会議等への学会員の派遣に対する財政支援を行います。

このような設立40周年記念事業の推進にあたりましては、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要といたします。その財源を確保すべく当学会個人会員、維持会員、団体会員、その他ご協力いただける方々に寄付を賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。何卒、記念事業の趣旨にご理解とご賛同並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。つきまして、下記の寄付金要領に従い、ご協賛頂ければ幸いに存じます。

末筆となりましたが、皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

平成26年8月吉日

日本農薬学会

学会長 浅見 忠男

寄付金募集要領

1. 目的：日本農薬学会設立40周年記念事業に対する寄付
2. 寄付金：

個人会員	一口 5千円
維持会員・団体会員等	一口 5万円

(一口以上何口でも結構です)
3. 寄付金の振込先：

個人会員の皆様は、同封の振込用紙にて下記の銀行口座にお振込み下さい。

三井住友銀行 白山支店(228)

普通預金 6630502

口座名：日本農薬学会(ニホンノウヤクガツカイ)
4. 寄付金振込の締切日：平成27年1月31日
5. 事務局：日本農薬学会 事務局
〒114-0015 東京都北区中里2-28-10
日本植物防疫協会内
TEL: 03-5980-0281 FAX: 03-5980-0282
E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

農薬科学研究奨励金交付申請について

日本農薬学会では、作物保護に必須の資材である農薬の研究を支えることで社会に貢献する事を目的とし、農薬科学研究補助金交付事業を行っています。平成27年度につきましては名称を「農薬科学研究奨励金」と改め、他の競争的資金の獲得が難しい研究者の方あるいは研究課題に対して支援することを優先し、下記の応募要領に従い募集します。なお今年度は日本農薬学会設立40周年を記念して、奨励金総額を200万円(上限)まで増額します(交付は3件まで)。本奨励金制度の詳細は、農薬学会ホームページ(<http://pssj2.jp/inside/grant15.html>)をご参考ください。

(対象となる農薬科学の研究テーマ)

1. 作用機構
2. 抵抗性
3. 生物活性・検定法
4. 天然物化学
5. 分子設計・合成プロセス
6. 代謝・分解・動態
7. 残留性・残留分析
8. 環境科学
9. 生態影響
10. レギュラトリーサイエンス
11. 製剤・施用法
12. 生物農薬
13. 遺伝子科学
14. 毒性

すべて、内容は基礎、応用を問いません。

(応募資格)

筆頭研究者は農薬学会正会員（学生会員を含む）であり、かつ申請年度後少なくとも3年間は正会員であること。なお、応募にあたっては、必ず所属長の承認を得てから応募して下さい。

（ここでいう所属長とは、指導教員、室長、部長、所長あるいは研究を行う機関の責任者等を意味します。）

(研究奨励金の規模)

今年度は農薬学会設立40周年記念として、総額上限200万円、1件上限100万円、年間3件以内の試験研究に対し、奨励金を交付いたします。研究遂行の目的であれば、特に用途の限定はありません。

(研究期間)

研究奨励金が対象とする研究期間は奨励金を交付する4月当初から1年間です。

(応募方法)

所定の農薬科学研究奨励金交付申請書用紙に必要事項を記入し、平成26年11月28日（当日消印有効）までに日本農薬学会事務局宛に郵送して下さい。

奨励金申請書・研究成果報告書の書式は日本農薬学会ホームページからダウンロード（<http://pssj2.jp/inside/grant15.html>）するか、日本農薬学会事務局にご請求ください。

連絡先：〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号

日本植物防疫協会内 日本農薬学会 事務局

電話：03-5980-0281 FAX: 03-5980-0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

立冬も過ぎ、暦の上でも冬であるが、今年は寒さが早いようである。越前蟹で有名な三国港界限も早々にあられが降り、雷も鳴った。あられ舞うと言えば響きが良いが、音を立てて機関銃のように落ちてくる。舞う、というのは嵐のようなときで小雪と違って風情もない。冬を前に最近は紅葉のように赤く光る畑地が多いが、収穫後の蕎麦畑が赤味を増したからだ。大豆、蕎麦への転作が進んだ結果と言えよう。

さて、今号には40周年記念大会の案内が掲載されている。記念すべき40周年に相応しい事業も準備されつつあり、会員の寄付も期待されている。冬の先に待つ春を思い、大会参加の準備をご検討いただきたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp